

洪水ハザードマップ

を作成しました



洪水ハザードマップとは…

地域の水害防止力向上を図るため、水防法の一部が改正され、洪水時の円滑かつ迅速な避難の確保を図るために必要な事項などを記載した洪水ハザードマップを、住民の皆さんに周知することが義務付けられました。

日野町においても、滋賀県が実施した浸水予測シミュレーションによって、日野川の浸水想定区域内に該当があり、洪水ハザードマップを

作成する対象となったことから、平成21年度にマップを作成しました。

また、今回の作成においては、滋賀県が作成した氾濫^{はんらん}想定区域が完成していたことから、マップ上に両方の区域を重ね合わせることで、より高度化された情報が確認できるマップとなりました。

日野川浸水想定区域および氾濫^{はんらん}想定区域とも概ね100年に1回程度起こる大雨が降った場合を想定されています。



☆洪水ハザードマップは、広報ひの6月号と一緒に配布させていただきます。

洪水ハザードマップの活用方法

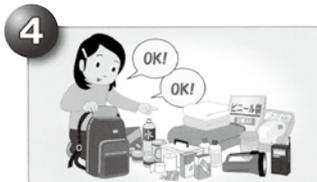
洪水ハザードマップは、予測される災害の危険性を示して、住民の皆さんに周知することや、ハザードマップをもとに、浸水範囲、避難経路、避難場所を確認しておくこと、早期の避難を行うための道しるべとして、ことから、家庭・地域で避難を検討する素材としてご活用ください。

活用方法としては、大雨や洪水の注意報などが出されてからや、台風が接近してからではなく、普段からこのマップを活用して、各家庭で次のような内容を確認してください。



①自分の家の位置を確認しよう。

自分の住んでいる場所が、どのくらいの浸水する可能性があるのかっておきましょう。



④非常持ち出し品、非常備蓄品の準備と確認をしましょう。



③情報の入手先を確認しておきましょう。

洪水や大雨に関する情報、避難に関する情報が、どこから入手できるのかを確認しましょう。



②近くの避難所とその周辺を確認しよう。

避難所も災害の影響を受ける可能性があります。どこに避難所があり、そこはどんなところか知りましょう。